

<No. 99> 2020 年 7 月号

医師と患者のためのオーソモレキュラー医学情報

「新型コロナウイルスと共存する時代に向けた国際オーソモレキュラー医学会の公式声明」

国際オーソモレキュラー医学会 会長

点滴療法研究会 会長

柳澤厚生（スピッククリニック）

4 月 7 日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく初の「緊急事態宣言」が発令されましたが、新規患者数の減少により翌 5 月 25 日に解除されました。しかし、東京都では新規患者の新たな発生により「東京アラート」が 6 月 2 日発動されています。世界を見るとブラジルでは新規患者数と死者数が急増し、各国で明暗を分けています。

■統合医療専門誌が著者らの論文を発表

5 月には統合医療の専門誌である「タウンゼントレター誌」に私とオーソモレキュラー医学ニュース編集長のアンドリュー・ソウル先生と「入院中の新型コロナウイルス感染と関連病態における高濃度ビタミンC点滴療法」と題する共著論文が発表されました（図1）。

Hospital-Based Intravenous Vitamin C Treatment for Coronavirus and Related Illnesses **by Andrew W. Saul and Atsuo Yanagisawa, MD, PhD** **Orthomolecular Medicine News Service**

<図1> タウンゼントレター誌に発表された筆者とソウル氏の論文

論文の中で、新型コロナウイルス感染で入院した場合、直ちに高濃度ビタミンC点滴療法を軽症では 12.5g、重症では 25g を投与開始すべきであると提唱しました。この治療プログラムは点滴療法研究会でウイルス感染や炎症疾患に用いていると紹介しています。この時期に各国で高濃度ビタミンC点滴療法を新型コロナウイルス感染に投与する臨床試験が進行していますが、どの臨床試験もビタミンC投与量をまさに私たちが提唱する 12.5g～25g に設定していたのです。

■新型コロナウイルスとの共存の時代

私が会長をしている国際オーソモレキュラー医学会では、新型コロナウイルスによるパンデミックが始まった1月、世界のオーソモレキュラー栄養療法の専門家を集めました。そして、感染予防の栄養療法と感染を起こしたときの高濃度ビタミンC点滴療法を提唱、さらに3月には東京で公式記者会見を行い、新型コロナウイルスに対する栄養療法を世界に向けて発信しました。

それから半年が経ち、私たちは様々な経験を積み重ねました。高濃度ビタミンC点滴療法を初めとする様々な臨床試験も立ち上がりました。しかし、新型コロナウイルス感染との戦いは続いており、長期戦の様相になっています。私たちは「次の時代の先を見越した行動」が必要です。新型コロナウイルスが地球上から永遠に消えてしまうことはありません。私たちは最終的には新型コロナウイルスやその他の新しいウイルスと共存する必要があります。

国際オーソモレキュラー医学会では「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」こそ、私たち人類が進むべき道であると確信しています。必要な栄養素(ビタミンC、ビタミンD、亜鉛、セレン、マグネシウムなど)の摂取により健康的な免疫システムを獲得すれば新型コロナウイルスに感染しても軽度の症状で済むでしょう。このような健康な人々が免疫力が低下している高齢者や病気にかかっている人々を囲むことで守ることができます。この「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」は新型コロナウイルス感染だけでなく、新しい出現するウイルスにも効果的です。

■国際オーソモレキュラー医学会からの公式書簡

2020年6月5日に国際オーソモレキュラー医学会では会長である筆者、元国際オーソモレキュラー医学会会長のガート・シュイットメーカー先生（オランダ）、そして学会事務局長のステイブ・カーター氏との連名で公式書簡を執筆、オーソモレキュラー医学会誌ならびに公式ウェブサイトで発表しました（写真1）（図2）。



<写真2> 左より公式声明を執筆した会長（筆者）、シュイットメーカー前会長、カーター事務局長



INTERNATIONAL SOCIETY FOR ORTHOMOLECULAR MEDICINE

Founded 1994

新型コロナウイルス感染に関する公式書簡

Founding President

Abram Hoffer, MD, PhD
(1917-2009)

President

Atsuo Yanagisawa, MD, PhD

Member Countries

Algeria
Australia
Austria
Belgium
Brazil
Canada
Denmark
Ecuador
France
Germany
India
Italy
Japan
Korea
Macedonia
Mexico
Taiwan
The Netherlands
Spain
Sweden
Switzerland
United Kingdom
United States of America

Director

Steven J. Carter

Head Office

PO Box 99517 O'Connor PO
Toronto, ON
Canada M4B 3M9

www.ISOM.ca

国際オーソモレキュラー医学会
会員ならびに関係各位

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界中に感染が広がるパンデミックとなり、私たちの生活は劇的に変化しました。パンデミックが始まった2020年1月以来、国際オーソモレキュラー医学会（ISOM）とオーソモレキュラー医学ニュースサービス（OMNS）は、栄養療法による新型コロナウイルス感染症の予防と治療に関する情報を医療専門家と一般市民に提供してきました（1,2）。

私たちは、「うがい、手洗い、ソーシャルディスタンス」に加えて、積極的なオーソモレキュラー栄養療法を新型コロナウイルス感染の予防法として推奨してきました。さらに新型コロナウイルスに感染した場合には、従来の治療法に加えて、高用量ビタミンC点滴療法を推奨しました。最近になって、多くの臨床成績が報告され、様々な関連する臨床試験が多くの国で行われています。

新型コロナウイルス感染の流行は5か月が経過し、私たちは多くの経験と学びを積み重ねてきました。これを元に、私たちは「次の時代の先を見越した行動」が必要です。新型コロナウイルスが地球上から永遠に消えてしまうことはありません。この戦いは長期化し、最終的には新型コロナウイルスやその他の新しいウイルスと共存する必要があります。

保健当局、政府、産業界は、ワクチンや抗ウイルス薬の開発に莫大な資金を投資しています。これらの治療法の迅速な開発と臨床試験の実施は、最後には有効性と安全性をめぐって争いがあります。特に集団におけるウイルス変異と遺伝的差異は、単一のワクチンや抗ウイルス薬の治療薬としての可能性が損なわれるかもしれません。

ISOMでは「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」こそ、私たち人類が進むべき道であると確信しています。パンデミック中およびパンデミック後の健康管理は重要な鍵です。ライフスタイルを見直し、最適な食事、運動、睡眠に加えて、良好なメンタルヘルス、ウイルス感染を防ぐために必要な栄養素（ビタミンC、ビタミンD、亜鉛、セレン、マグネシウムなど）の摂取により、人々は良好で健康的な免疫システムを獲得します。このコミュニティでは、新型コロナウイルスに感染しても無症状あるいは軽度の症状で収まるでしょう。このコミュニティの人々は、免疫力が低下している高齢者や病弱にかかっている人々を囲み、保護することができます。これが「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」です。「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」は新型コロナウイルス感染だけでなく、新しいウイルスの出現によって引き起こされた新たなパンデミックにも効果的です。この戦略は現実的であり、実用的ですぐにでも始められ、何よりも安全で安価にできるのです。

私たちは今、新しい時代のオーソモレキュラー医学の中にいます。ISOMと関連医学会会員は「健康なコミュニティにおける集団免疫の獲得」をスローガンに、コミュニティをより健康にすることを推進します。

“最適な栄養こそ未来の薬である”

—ライナス・ポーリング

2020年6月5日

国際オーソモレキュラー医学会 会長 梶澤 厚生
前会長 ガート・E・シュイットメーカー
事務局長 スティーブン・J・カーター

(1) <https://isom.ca/covid-19-resources/>

(2) <http://orthomolecular.org/resources/omns/v16n29.shtml>

<図2> 新型コロナウイルス感染に関する国際オーソモレキュラー医学会の公式書簡

書簡の最後に、オーソモレキュラー医学という言葉を生み出したライナス・ポーリング博士の言葉「最適な栄養こそ未来の薬である（Optimum nutrition is the medicine of tomorrow）」を記した。国際オーソモレキュラー医学会では理想的な栄養により人々の免疫力を理想の健康レベルに高めれば、新型コロナウイルス感染だけでなく、将来に必ず起こりうるだろう新ウイルスによるパンデミックも乗り越えられると確信しています。

<参考ウェブサイト>

Saul A, Yanagisawa A: Hospital-based intravenous Vitamin C treatment for corona virus and related illness, Townsend Letter 442:10-11, 2020.

Yanagisawa A, Shuitemaker GE, Carter SJ: Editorial-Protecting Population Immunity, Journal of Orthomolecular Medicine 35(1), 2020.

<https://isom.ca/article/protecting-population-immunity/>